

作成日：2024年 5月10日

## これまでに手術治療を受けた患者さんへ 【診療情報の臨床研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部病院管理学研究室では「トレーサビリティシステム導入によるコスト影響分析（後方視的観察研究）」という研究を行っております。この研究は、手術で使用する手術用器具に対する履歴および使用数などの管理システムの導入によるコスト影響を調べることを主な目的としています。そのため、過去に当院で手術治療を受けた患者さんのカルテ等の診療情報を使用させていただきます。

- この研究の対象となる患者さんは、2019年1月1日から2022年12月31日の間に手術を受けた方です。
  - 利用させていただく診療情報：手術情報：手術日、手術申し込みを行った診療科  
手術用構成小物情報：手術用構成小物のコンテナ名と個数、器械名、使用回数、削減数
  - 収集期間：2019年1月1日～西暦2022年12月31日
  - 情報の管理責任者：順天堂大学医学部附属順天堂医院（研究責任者：順天堂大学医学部病院管理学研究室 猪俣武範）
- この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認および研究機関の長の許可を受け、以下の期間で行われます。また、情報の利用を開始する予定日および外部への提供を開始する予定日は以下のとおりです。
  - 研究実施期間：研究実施許可日～西暦2026年12月31日
  - 利用又は提供を開始する予定日：研究実施許可日
- 診療情報を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。
- この研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

6.この研究は、病院管理学講座の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。この研究に係る全ての研究者およびその配偶者などの家族は、この研究で用いるトレーサビリティシステムを製造している三井情報株式会社、電子カルテを製造している富士通、日本IBMとの間に金銭的利害関係、雇用関係は一切ありません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

7.本研究は以下の体制で実施します。(この研究は当院のみで行う自主研究です)

順天堂大学医学部附属順天堂医院(研究責任者 病院管理学研究室 猪俣武範)

<既存試料・情報のみを収集し提供する機関>。

該当なし

<研究協力機関>

該当なし

<委託機関>

該当なし

この研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、患者さんからインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しません。そのため同意を取得する代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが【お問い合わせ先】までご連絡ください。なお、情報の利用についてご了承いただけない場合でも、今後の治療などに影響することはございません。

#### 【お問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院

連絡先： 03・3813・3111

担当者の所属・氏名：順天堂大学医学部病院管理学研究室 猪俣武範

順天堂大学医学部病院管理学研究室 前田浩